

平成28年度 有明海・八代海再生及び地球温暖化対策特別委員会

管外視察(神奈川県・東京都・愛知県)の概要

■視察日程 平成28年11月8日(火)～10日(木)

■視察者 有明海・八代海再生及び地球温暖化対策特別委員会委員(14名)
坂田 孝志(委員長)、田代 国広(副委員長)、西岡 勝成、村上 寅美、城下 広作
松田 三郎、山口 裕、内野 幸喜、磯田 毅、西山 宗孝、岩本 浩治、岩田 智子
高島 和男、吉田 孝平

- 視察先
- ①水素事業に係る川崎市と㈱東芝との共同実証試験
【場 所:川崎マリエン】
 - ②有明海・八代海再生に関する熊本県選出国會議員及び関係省庁との
意見交換会
【場 所:衆議院第二議員会館】
 - ③愛知県におけるアサリの漁獲量向上に向けた取り組み
【場 所:愛知県水産試験場及び三河湾奥部豊川河口地先(六条潟)】

■視察趣旨 有明海・八代海の再生及び地球温暖化対策に係る今後の委員会審議の参考とするため、次のとおり、視察を実施しました。

- ① 川崎市と㈱東芝では、低炭素社会実現に向けた協定を締結しており、本協定に基づき、再生可能エネルギーと水素を用いた自立型エネルギーシステム[H2One(エイチツーワン)]の実証試験を川崎マリエンで行っており、産業部門、家庭部門等の温室効果ガス排出の抑制に資する先駆的な取り組み状況を聴取する。
- ② 「有明海・八代海等を再生するための特別措置に関する法律」に基づき、国に有明海・八代海等総合調査評価委員会が設置されており、国や県が行う調査結果に基づき、有明海・八代海等の再生に係る評価を実施し、本年度中に評価報告書が取りまとめられる予定。国の動向を踏まえ、有明海・八代海等の再生に係る県から国への要望を行うとともに、県選出国會議員及び関係省庁との意見交換を実施する。
- ③ 愛知県は、全国有数のアサリの生産県であり、稚貝の発生場所である六条潟をアサリ禁漁の区域として保護し、県内各漁場へ移殖するなどの取り組みを通じて、アサリ資源の有効活用を図っており、愛知県におけるアサリの漁獲量向上に向けた取り組みを聴取する。

■視察の概要

① 水素事業に係る川崎市と(株)東芝との共同実証試験

川崎市及び(株)東芝の担当者から、水素社会実現に向けた川崎水素戦略の取り組みや、(株)東芝における水素社会実現に向けた取り組みの説明を受け、意見交換会を行いました。

併せて、再生可能エネルギーと水素を用いた自立型エネルギーシステム[H2One(エイチツーワン)]における、災害時を想定した水素BCPシステム及び平常時の水素エネルギーマネジメントシステムの有効性等の検証状況を視察しました。



② 有明海・八代海再生に関する熊本県選出国會議員及び関係省庁との意見交換会

自民党政務調査会有明海・八代海再生プロジェクトチーム座長の金子恭之衆議院議員をはじめとした県選出国會議員及び関係省庁担当者へ有明海、八代海の現状を説明のうえ、有明海・八代海再生に係る国への要望を行い、海域の再生に係る課題等についての意見交換を行いました。



③ 愛知県におけるアサリの漁獲量向上に向けた取り組み

愛知県水産試験場職員から、愛知県漁業の特徴や干潟、藻場の減少状況、それに対処する環境改善事例、六条潟における天然アサリ稚貝採捕禁止区域の設定や稚貝の利用状況などの説明を受け、意見交換を行いました。

また、アサリ稚貝の発生場所である三河湾奥部の豊川河口に広がる六条潟を視察しました。

